

## NEWSLETTER No.55

編集・発行 甲南英文学会事務局  
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8 - 9 - 1  
甲南大学 文学部英語英米文学科気付  
メール : els@konan-u. ac. jp  
ウェブ : <http://www.konan-u. ac. jp/~els>  
発行日 2014 年7月25 日

甲南英文学会会長 高橋勝忠

### 甲南英文学会役員会報告

2014 年6月28日（土）11時から甲南英文学会役員会が開催され、2013 年度収支決算報告案、2014 年度予算案、2014 年度定期総会・大会、学会創立30周年事業、記念講演会、新会長ならびに新役員の改選などについて話し合われました。

### 甲南英文学会総会報告

第30回の甲南英文学会定期総会が、6月28日（土）13時より甲南大学2号館221号教室で開催され、以下の議題が審議されました。

### 2013 年度収支決算報告

市川郁子氏が2013年度収支決算報告書を項目ごとに読みあげて、報告し、横山三鶴氏による会計監査報告ののち、2013年度会計報告は適正であることが拍手をもって承認されました。

### 2014 年度予算案、

同じく市川郁子氏より2014年度予算案が提案され、拍手をもって承認されました。2013年度会計報告及び2014年度予算案は添付しておきますのでご覧ください。

### 新会長と新役員

会長：福田 稔

副会長：中井誠一

幹事：沖野泰子

会計：横山三鶴

会計監査：市川郁子、山口徳一

大会準備委員長：青山義孝

編集委員長：秋元孝文

(役員につきましては確定分のみを掲載しています)

### 設立30周年記念学術講演会

甲南英文学会創立30周年を記念した学術講演会は秋の11月1日(土) 午後に予定しています。場所は甲友会館で、本学学生、一般の方々も参加自由(無料)です。講師に慶応義塾大学法学部准教授、大和田俊之氏を迎えます。演題は「ジャズと黒人性」(仮題)です。神戸新聞、朝日新聞などの媒体で、また阪急岡本駅、JR摂津本山駅にポスターを掲示する予定です。

ここに氏の経歴、業績を再度、ご紹介しておきましょう――

大和田俊之(おおわだ・としゆき)

1970年、東京都に生まれる。慶應義塾大学大学院文学研究科英米文学専攻後期博士課程修了。博士(文学)。日本ポピュラー音楽学会理事。専攻はアメリカ文学。ポピュラー音楽研究。共著書に、『村上春樹を音楽で読み解く』(日本文芸社)、『英米文学のリヴァーブ――境界を超える意思』(開文社出版)、『アメリカン・テロル――内なる敵と恐怖の連鎖』(彩流社)、『ブルースに囚われて――アメリカのルーツ音楽を探る』(信山社)、サントリー学芸賞を受賞した『アメリカ音楽史――ミンストレル・ショウ、ブルースからヒップホップまで』(講談社選書メチエ)などがある。

この講演会に合わせてジャズセッションが予定されていますので、どうかご期待下さい。また、講演後、氏を囲み、懇親会も予定されています。詳細は後日、お知らせします。

### 研究発表と講演会

[英語学] 2号館2階223教室

・14:00-14:40

司会：福田 稔(宮崎公立大学)

「Usted abrió la caja, ¿no?―付加疑問文を再考する―」

根之木 朋貴(甲南大学 非常勤講師)

岡村ビクトル 勇(神戸市外国語大学 非常勤講師)

・14:50-15:30

司会：高橋 勝忠(京都女子大学)

「日本語の壁塗り交替の容認性は何によって決まるか?―目的語の組み合わせから生まれる語用論的な意味の影響―」

青木 奈律乃（甲南大学大学院生）

[英米文学・文化] 2号館2階221教室

・ 14:00-14:40

司会:中島 俊郎（甲南大学）

「Dickens による *Every Man in His Humour* の上演」

西條 隆雄（甲南大学元教授）

・ 14:50-15:30

司会: 青山 義孝（甲南大学）

「画家の復讐—Henry James の作品に伏在する芸術家のルサンチマン」

中井 誠一（島根大学）

16:30-18:00

講演会（2号館2階223教室）

司会：中島 信夫（甲南大学）

「動詞の世界、名詞句の世界」

有村 兼彬（甲南大学）

いずれの研究発表も活発に行われました。講演の方は終了すると、フロアから矢継ぎ早の質問が上がり、有村先生はそれらに丁寧に応えていきましたが、質問の挙手はおさまりませんでした。司会者の中島信夫先生が「時間の制約もございますので、あとのご質問は懇親会の場でしてください」と遮るほど、議論尽きずという感がありました。

その後、学会の生みの親であり、文字通り、育ての親であったことを顕彰し、有村先生に感謝の念を捧げるべく、院生の青木奈津乃さんから花束が手渡された。先生は「このようなことは慣れていないので…」と大いに照れておられました。

### 懇親会

懇親会は5号館の1階にあるカフェ・パンセにて、西條先生の乾杯の音頭で始まり、会員同士が旧交を温め合い、和気藹々の雰囲気が進んでいきました。宴たけなわの時、高橋会長から一言、所感を述べたいと申し入れがあり、一同は耳を傾けました。「私は今日、ある感激にひたりました。講演会の時、講演者の有村先生がライクロフト先生に英文の是非について確認すると、すぐに返答がありました。このような関係は学会の理想とするところで、わが学会はその理想を体現していると思います」と言葉を続けられました。一同、深くうなずき、会長の言葉に賛意を表したのであります。20時の散会直前に中谷健太郎先生より急遽、「有村先生を囲む会」が二次会として提唱があり、言語学関係者は再び参集しました。

参加者一同は、秋の30周年記念講演会での再会を約束し、三々五々、帰途についたのでありました。30年前、有村先生が「一年に一度くらい、近況はどうしていると専門研究を超えて、気軽に会える場が欲しい」と願い、甲南英文学会は設立されましたが、その願いの一端は実現したのでは…、と感慨が胸をよぎるような一日でした。

なお展示販売部門では、賛助会員である丸善神戸支店が近刊の研究書、双書などを幅広く持ってきてくださり、会員の目を喜ばせてくれました。また、8割引という破格のバーゲン本も多く用意して下さり、側面から学会を盛り上げてくださいました。

### 編集委員会より

『甲南英文学』29号が出来上がり、大会当日、参加者に配布されました。まだお手元に届いていない場合はどうか事務局までお申し出ください。すぐにお送りします。

次号は30周年記念号です。論文、研究ノート、書評などふるってご応募ください。ご投稿をお待ちしております。多数の論文を掲載したく存じますので、どうかご準備のほどよろしく願い申し上げます。投稿に際しては投稿規定をご覧ください。

また何人かの先生方に甲南大学大学院英文科、甲南英文学会を回顧した、30周年を祝うエッセイのご寄稿を依頼していますので、どうかご期待下さい。好評でした有村先生のご講演「動詞の世界、名詞句の世界」も掲載予定です。

### 事務局より

・住所、所属等に変更のある方は、お手数ですが事務局までお知らせください。メールでも構いません。

・会費未納の会員は、振替用紙でもって早急に会費を納入して下さるようお願い申し上げます。また、振込先は以下の通りです。

#### ■ゆうちょ銀行間の振替

口座番号 01180-6-43378

甲南英文学会

#### ■他金融機関からの振込用口座番号

ゆうちょ銀行 一一九支店 当座 0043378

甲南英文学会

・公式ウェブサイト (<http://www.konan-u.ac.jp/~els>) もご利用ください。事務局からの連絡は書面だけでなく、ウェブサイトからも確認できます。

・どうか充実した夏期休暇をお過ごしください。おたいせつに。